

北陸マツダ 野々市本店新社屋 ショールーム



所在地：石川県野々市市横宮町3-1
 建築面積：1,788.03㎡
 延床面積：2,078.24㎡
 施工主：(株)北陸マツダ
 設計：(株)エムエスピー店舗開発機構
 施工：2016年12月
 竣工：2017年1月

北陸マツダはマツダが進める新世代店舗への移行にともない、野々市本店をリニューアルしました。ショールームには照明を無線制御する最新鋭システムを導入するなど、お客様が心地よく、クルマの美しさが際立つ照明環境を創出しています。

品格と質の高さ、温かみが調和された居心地のよいマツダ新世代店舗

マツダでは、デザイン本部の監修のもと「品格あるたたずまい」「惹きつける力」「クルマを美しく魅せる」「居心地よいしつらえ」という店舗デザインコンセプトにより、新世代店舗づくりを推進中です。北陸マツダの野々市本店もこのたびマツダ新世代店舗に生まれ変わりました。モノトーンとシルバーで配色された内外装に黒を基調とした専用のファシリティサインやウッドを用いたアクセントにより、品格と質の高さと温かみが調和した空間を実現しています。

最新鋭の無線制御システムによってお客様と時間に寄り添った照明空間を創出

ショールームは走行シーンをイメージさせる車両展示がされており、照明は存在感を最小限に抑えたLED器具を選定。ベース照明は、グレアを抑えるLED一体形ダウンライトにより常に1000ルクス以上を維持し快適な照明環境を創出。さらにショールーム内にアクセスポイント（無線エリアコントローラー）を3台設置し、店内のあらゆる場所から調光調色ができる最新鋭の無線制御システムを導入しています。時間の移ろいに沿ったプログラム設定で自動制御でき、天候やお客様の来店状況に応じ、無線タブレット操作によって直観的な調光調色も行えます。

クルマの演出照明はLEDスポットライトによって、ボディやガラスへの映り込みを抑え、光沢やツヤを出しながら、上部は1200ルクス以上の照度をもって表情豊かなボディラインをアピールし、クルマを一層美しく魅せています。またディンプル付光学レンズを採用し配光制御がしやすく、滑らかに光が広がることで美しい陰影を演出します。またショールーム全体をLEDベースライトTENQOOシリーズによる間接照明が包み、伸びやかなグラデーションで「品格あるたたずまい」「居心地のよいしつらえ」を実現しています。カスタマーラウンジにも同様の器具を採用しているほか、事務所や食堂にもLEDベースライトTENQOOシリーズを採用するなど、本店全体の照明をLED化することで省エネやメンテナンスコストの削減も実現しています。



受付からショールーム方向を望む
 ベース照明は遮光角をとりグレアを抑制する銀色鏡面反射板を具備するLEDダウンライトを採用

■ショールーム内のベース照明



LED一体形ダウンライト調光調色タイプ

タブレット操作器

無線エリアコントローラー

■ショールームの車両演出照明：LEDスポットライト



5000K 8:00~10:00 → 4000K 10:00~17:00

さわやか高色温度で
アクティブな空間を演出

自然な色合いで「品格あるたたずまい」
「居心地のよいしつらえ」を演出

↓
3000K 17:00以降

時間の移ろいに寄り添った空間を
演出し、くつろぎ感を演出



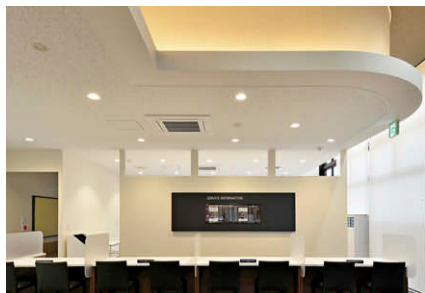
間接照明：TENQOOシリーズ直付形



表情豊かなボディラインを際立たせ、車両を美しく魅せる、LEDスポットライトによる照明計画



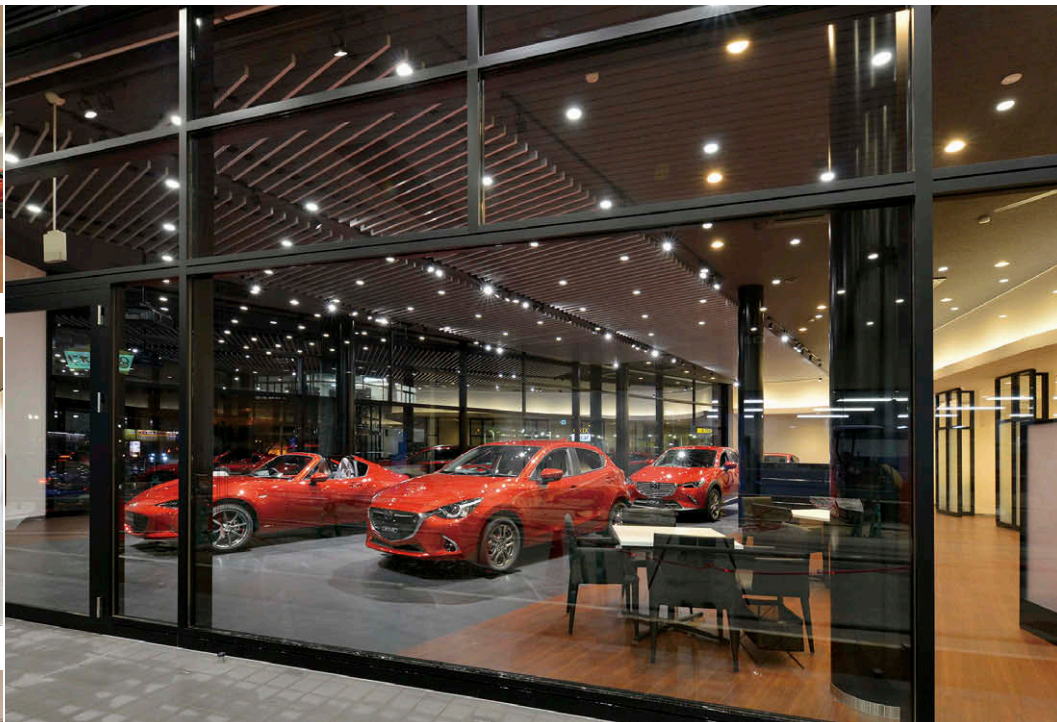
入口側からショールーム内部を望む



整備等の窓口になるサービス受付の照明



カスタマーラウンジの照明



ショーウィンドーの外からショールーム内部を望む

時間の移ろいに応じ光色に変化することで周囲との調和を図るとともに、いつの時間帯でも来店しやすい雰囲気を出創

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
ショールーム	LED一体形ダウンライト(調光調色)	LEDD-60011MC-WC9	96	LED 消費電力：71.0W
	LEDスポットライト	LEDS-30112WK-LS1	72	LED 消費電力：32.5W
	LEDベースライトTENQOOシリーズ	LEKT407323L-LD9	34	LED 消費電力：19.5W
		LEKT207163L-LD9	13	LED 消費電力：11.9W